

二本松青年海外協力隊訓練所 Vol.58

# あだたら ADATARA



## 世界中で活躍するJICA海外協力隊 特集

各国で活躍中の現役隊員へインタビュー！



◀ 巻末特集

教師海外研修 事後研修レポート

～ 福島県でご活躍されている2名の先生にお話を伺いました! ～



リニューアル  
しました

リアルタイム情報は  
こちらから



Facebook



X (旧Twitter)



JICA海外協力隊HP

**猪股 万寿美 隊員**

2023年度 7次隊 (公衆衛生)



**セネガル共和国**

- 独立年 1960年
- 言語 フランス語(公用語)  
ウォロフ語など各民族語
- 通貨 CFAフラン

▶**現在、こんな活動をしています!**

Bonjour! 西アフリカに位置するセネガルの田舎で、女性グループと一緒に手洗いや清掃などの衛生啓発や栄養改善の活動を行なっています。

▶**任国のここが好き!**

私の任地「Diofior」は断水が多いのですが、長く断水した時には近所の人が水を分けてくれます。携帯電話を落としても町の人が探すのを手伝ってくれたり(道で落とした1時間後に見つかりました!)とにかく親切な人が多くて、大好きな町です。

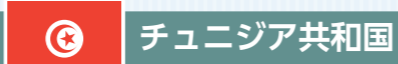
▶**お気に入りの写真**

馬車ならぬ「ロバ車」の上から撮った写真です。犬がかなりゆっくりなロバを励ましていました(笑)。



**木田 麻貴 隊員**

2022年度 3次隊 (音楽)



**チュニジア共和国**

- 独立年 1956年
- 言語 アラビア語(公用語)  
フランス語(国民の間で広く用いられている)
- 通貨 チェニジア・ディナール

▶**現在、こんな活動をしています!**

音楽院に通う子供たちにピアノを教えたり、オーケストラではピアノパートを担当し、学生たちと演奏したりしています。

▶**任国のここが好き!**

やはり音楽です! 音楽院のオーケストラではクラシックの他にアラブ音楽も演奏します。ヴァイオリンなどの西洋楽器とウードやカヌーン、タブラなどのアラブ楽器が織りなす独特の響きにすっかり魅了されました。

▶**お気に入りの写真**

配属されて間もない頃、お隣さんがクスクスを作ってくれました。レストランでは味わうことのできない美味しさです!



**國井 友里 隊員**

2022年度 7次隊 (日本語教育)



**タイ王国**

- 独立年 —
- 言語 タイ語
- 通貨 バーツ

▶**現在、こんな活動をしています!**

タイの中高一貫校で日本語の授業や日本文化紹介・イベントなどを行っています!

▶**任国のここが好き!**

サバァイサバァイ。「心地よい」「楽」などリラックスした状態を表す言葉です。着任当初は、毎日ハラハラドキドキの連続。いつも同僚の先生方はサバァイサバァイと声をかけてくれました。マイペースな私にとって、ぴったりな言葉です。

▶**お気に入りの写真**

日本語の先生たちとの写真です。「日本語を通していい経験を」をモットーにタイ人の先生方と一緒に日本語を教えています。



**目黒 友佳子 隊員**

2023年度 7次隊 (小学校教育)



**カンボジア王国**

- 独立年 1953年
- 言語 クメール語
- 通貨 リエル

▶**現在、こんな活動をしています!**

スバイリエン州の小学校や小学校教員養成校で、担当教員とともに体育・英語・音楽科の授業に携わります。主に、導入と普及です。また、な、な、なんと! 日本語を勉強したい! 日本に行きたい、働きたい! の声が多く、日本語レッスンも始めました!

▶**任国のここが好き!**

I Love Cambodia 早10年。だから今回の派遣国もカンボジアを選びました。あいさつ「ជំរុំស្រី (チョムリアップスウォー)」・ありがとう「អរគុណ (オークン)」を伝える際に、合掌をしながら伝える姿。知り合いだろうがなかろうが、目が合えばもらえる優しい微笑み♡いつも家族みたいに接してくれるところ。カンボジアの方々が好き! です!

▶**お気に入りの写真**

毎日お世話になっている家族。カンボジアも日本も大好きな家族。初めて着る浴衣と一緒にハイチーズ!



**相田 敦子 隊員**

2022年度 4次隊 (薬剤師)



**マラウイ共和国**

- 独立年 1964年
- 言語 チェワ語、英語(共に公用語)、各民族語
- 通貨 マラウイ・クワチャ

▶**現在、こんな活動をしています!**

現在はプログラム医薬品(マラリアやHIV/AIDS)を管理する倉庫で薬の払い出しや5Sをしています。

▶**任国のここが好き!**

道端で知らない人でも挨拶をしたり、こっちに来て話そうよと言ってくれたりします。また、「カリブ」と言ってごはんを一緒に食べようと言ってくれます。このマラウイの人たちのフレンドリーな感じが好きです。

▶**お気に入りの写真**

同僚宅にてマンガシという揚げドーナツを作っているところです。材料は小麦粉、卵、牛乳、イースト(ベーキングパウダー)、バター(マーガリン)を適当に混ぜて、ベンチタイムを設けてから油であげます。マンガシは道端で売られていることが多く、小腹がすいたときによく食べています。



特集

世界で活躍する  
**JICA海外協力隊**

**古川 仁 隊員** 2022年度 3次隊 (環境教育)



**フィジー共和国**

- 独立年 1970年
- 言語 英語(公用語)、フィジー語、ヒンディー語
- 通貨 フィジードル

▶**現在、こんな活動をしています!**

フィジーの首都スバ市の北に隣接する人口12万人のナシヌ町役場(職員・約60人)の保健衛生課で環境啓発・ゴミ削減の活動をしています。

▶**任国のここが好き!**

フィジーは歌と踊りが大好きな明るい国民です。窓ガラスの無いバスにはドライバー好みの軽快な音楽が常に大音響で流れ、路上では「ブラ(こんにちは)」「ヤンドラ(おはよう)」と挨拶の声を初めての場合でも笑顔でかけ合い、モチベーションも朝から爆上がりです。

▶**お気に入りの写真**

隣町のタンバラフェスティバルのアジアンデーで、ミス・タンバラフェスティバルが浴衣を着て踊っています。



**横山 由紀 隊員**

2023年度 1次隊 (環境教育)



**ベリーズ**

- 独立年 1981年
- 言語 英語(公用語)、スペイン語  
ベリーズ・クレオール語、モパン語等
- 通貨 ベリーズ・ドル

▶**現在、こんな活動をしています!**

町のごみ環境改善に向けて、小学校・高校での環境教育の授業、町役場職員の研修事業を担当しています。

▶**任国のここが好き!**

ベリーズの人々の陽気で前向きな生き方に心惹かれます。彼らから学ぶ日々です! また、豊かな食文化に魅了され、地元の人々に「あなたはベリーズの食べ物なんでも好きね!」と言われるほど、楽しんでます。

▶**お気に入りの写真**

昼休みの小学校で、子供たちに囲まれて日本語のレッスン。「こんにちは!ありがとう!」の大合唱です。



# 教師海外研修 事後研修レポート

教師海外研修 事後研修(最終報告会)を実施!

1/27(土) JICA東北センターで教師海外研修の事後研修を実施いたしました。今回は2023年度 教師海外研修でモザンビークへ派遣された7名の先生から授業実践報告や振り返り、今後の展望について発表いただきました!



## 福島県で ご活躍中の参加者インタビュー!



モザンビーク共和国  
República de Moçambique

福島県立あさか開成高等学校  
国際科学科長・国際部部长  
**渡部 真奈美** 教諭



### Q1 教師海外研修に参加してみて率直な感想は?

「驚いた! 楽しかった! 幸せって何だ?」

はじめてモザンビークに行き、いろいろな感情が生まれました。自分が当たり前と持っている価値観が大きく揺らぎました。特に、幸せ、貧困、教育、平和と公正について、考えることが多くなりました。そして、モザンビークのリアルな生活に触れ、モザンビークの解像度が上がったというか、具体的に考えられるようになりました。この経験を生徒達に還元していきたいと思っています。

### Q2 現地でいちばん印象に残ったことは?

「50年前の日本にインターネットがあるような国。」モザンビークでは、道ばたで、野菜や果物だけでなく、服や靴、かつらなどいろいろなものを売っている人が多くいるのですが、それと並んで、赤いパラソルを張っている人を多く目にしました。聞くと、通信データをチャージできるプリペイドカードを販売しているのだそうです。銀行サービスへのアクセスが非常に限定的で、日本のように銀行口座やクレジットカードを介して支払う仕組みが整っておらず、電気やガスもプリペイドカードによる前払いチャージで使うため、そのような路上ビジネスが成立しているそうです。炭や薪で調理する生活に、スマホがあるという不思議な光景がとても印象的でした。



### Q3 この気づきや学びを今後どう生かしていきますか?

プログラムを通して、自分の「当たり前」という価値観の壁を感じました。多様性、多角的にと言葉ではいうものの、実際は、自分の「当たり前」の価値観に支配された考えに過ぎないということを感じました。日本から研修に来るというのに、予定時間に誰もいないなんて、思いもよらないですね。時間や約束の感覚の違いに唖然としました。「当たり前を疑って考えること」「多様性への寛容」は、とても大切です。今回の研修の学びを「知ること、気づくこと、考えること、行動すること」を重視した開発教育に生かして行きたいです。

福島県立福島南高等学校  
国際文化科担当  
**高橋 真由美** 教諭



### Q1 教師海外研修に参加してみて率直な感想は?

海外研修に参加する前は、メディアからの断片的な情報で、どうしてもアフリカすなわち「貧困・危険」という先入観を持ちがちでした。しかし、実際に、モザンビークのスラム街や学校等の生活圏を巡り、彼らがいかに平和で穏やかに生活を楽しんでいるかを肌で感じとることができました。

たしかに、ままならぬ環境、不均衡な経済発展といった現実がありますが、広大な大地と多様な文化そしておらかな人たちに触れて、見方が大きく変わりました。

### Q2 現地でいちばん印象に残ったことは?

現地の小学校訪問です。子どもたちのきらきらした眼差しが、今も目に焼き付いています。発展途上国で現地の人々と信頼を築きながら、JICA青年海外協力隊が支援活動をされている姿にも、心打たれました。

### Q3 この気づきや学びを今後どう生かしていきますか?

モザンビーク海外研修では、自分を見つめ直し、幸せとは何かを深く考える機会が多かったです。「世界は広い! 教育はどの国でも要だ」とあらためて感じた研修でした。

「自分の当たり前が、当たり前ではない」そんな違いに触れることが、自分を知ること、多様性を尊重する気持ちにつながる、目の前の生徒たちに伝えていきたいです。

小学校訪問にて子どもたちと一緒にダンス



## 地域のJICA窓口!

### JICAデスクのご紹介

お気軽に  
ご連絡  
ください!

#### JICA福島デスク ▶ 松山 里美

TEL. 024-524-1315

E-mail: jica\_fukushima\_desk@jica.go.jp

福島県福島市舟場町2-1

福島県庁舟場町分館2階 (公財) 福島県国際交流協会内



#### JICA郡山デスク ▶ 室井 研一

TEL. 080-3148-2105

E-mail: MUROI-Kenichi2@jica.go.jp

福島県郡山市朝日一丁目23-7

郡山市役所西庁舎4階 郡山市役所産業政策課内



## 教師海外研修とは?

国際理解教育・開発教育に関心のある学校の先生方等を対象とし、開発途上国の教育現場や国際協力のプロジェクトサイトを訪問いただく研修プログラムです。現地で得られる貴重な経験を、次世代を担う児童・生徒の教育に役立てていただくことを目的としています。



その他、JICAで取り組んでいる教員向けプログラムは  
右記QRコードからご覧いただけます。



発行元

独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局  
**二本松青年海外協力隊訓練所**

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2  
Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214